

東我孫子中学校



(令和6年5月1日現在)

所在地	〒558-0011 住吉区苅田1-16-2		
電話	06-6698-0001	F A X	06-6698-0541
URL	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j732664		
校長名	筵平 雅子		
生徒数	446名	教職員数	37名
学級数	16学級(うち特別支援学級4)		
標準服	冬:ブレザー 夏:ポロシャツ		

学校概要

本校は、昭和42年5月に我孫子中学校の分校として発足し、昭和48年4月1日に分離独立、大阪市立東我孫子中学校として創立、一昨年(2022年)に創立50周年となり、現在に至っています。卒業生は1万3千人を超えました。開学当時から「ヒガアビ」の愛称で親しまれています。

教育目標

主体的に学び、互いに尊重し合える生徒集団の育成

本校のめざす学校像

- 個を認め、ともに高めあう集団の育成
- 夢や志を高くもち、主体的に取り組む生徒の育成
- 将来をたくましく生き抜く学力・体力・人間力を伸ばす教育活動の推進
- 地域の中の一員としての成長を期待される学校

本校のめざす子ども像

- 積極的に挨拶のできる生徒
- 自ら学ぶ生徒
- 思いやりのある生徒
- 最後まで粘り強く取り組む生徒

校長メッセージ

「主体的に学び、互いに尊重し合える生徒集団の育成」を学校教育目標にかかげ、達成に向けた教育方針として、

1. 自他の人権尊重の精神を実践する態度を育てる
 2. 基礎学力の向上に努め、教育活動の多様な創意工夫によって、主体的に学習する態度を育てる
 3. 障がいのある仲間との交流を通して、互いに違いを認め合い、支え合う集団を育成する
 4. 生徒理解を通して、生徒・教職員相互のふれあいと信頼を深める
 5. うるおいのある学校環境づくりに努める
- 以上の5つにのっとり、教職員一同で安心・安全な学校づくりを進めてまいります。

学校行事

- 4月 入学式、始業式、部活動編成、発育測定、健康診断、全国学力・学習状況調査
- 5月 1年一泊移住、2年校外学習、中間テスト
- 6月 創立記念日、3年修学旅行、期末テスト
- 7月 期末懇談、終業式、学力補充
- 8月 学力補充、始業式、防災訓練、教育実習
- 9月 授業公開、学校説明会、3年チャレンジテスト、文化祭
- 10月 体育大会、芸術鑑賞、生徒会選挙、中間テスト
- 11月 1・2年校外学習、2年職場体験、進路相談、1年上方落語にふれ合う会
- 12月 期末懇談、進路相談、終業式
- 1月 始業式、1・2年チャレンジテスト、新入生オリエンテーション、百人一首大会、進路相談
- 2月 新入生保護者説明会、3年茶道講習会
- 3月 学年末テスト、卒業式、修了式

学校協議会会長メッセージ

今年度、学校協議会会長として、学校目標に向けて取り組んでまいります。皆様のご協力をいただき、健全育成にも努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

沿革

昭和42年3月	第1期校舎完成
昭和42年5月	大阪市立我孫子中学校の分校として発足
昭和43年3月	第2期校舎完成
昭和44年4月	第3期校舎完成
昭和47年5月	第4期校舎完成
昭和48年4月	大阪市立東我孫子中学校開校
昭和49年6月	体育館兼講堂完成
昭和49年9月	第5期校舎完成
昭和57年6月	創立10周年記念式典
平成4年11月	創立20周年記念式典
平成14年11月	創立30周年記念式典
平成24年11月	創立40周年記念式典
令和4年2月	体育館空調設備完成 運動場整地作業完成
令和4年11月	創立50周年記念式典

部活動

【運動部(8)】

サッカー部(男(女))・ソフトテニス部(女)・卓球部(男女)
ハンドボール部(男)・バスケットボール部(女)
バレーボール部(女)・野球部(男(女))・陸上競技部(男女)

【文化部(5)】

美術部・家庭科部・技術工作部・吹奏楽部・理科部

▶ 運営に関する計画

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 校内アンケートの結果において、次の各項目について、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と肯定的に回答する生徒の割合を、次の数値を目標として取り組む。
 - ・「学校のきまり、規則を守っている」 95%以上
 - ・「自分にはよいところがあると思う」 75%以上
 - ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」 98%以上
 - ・「人が困っているときは、進んで助けている」 90%以上
- 校内アンケートを活用し、いじめ事案の発生に素早く対応し、「解決していないいじめ事案」をゼロにする。
- 暴力行為(体罰、暴言も含む)を起こさない学校づくりを進める。
- 生徒への柔軟な対応のもとに、不登校生の割合を全体の5%以下をめざす。
- 定期(年2回以上)の避難訓練や防災訓練を通して防災意識を毎年高め、地域とともに歩む防災・減災計画に参画する。
- 3年間の系統立てたキャリア教育を工夫・推進し生徒の適切な進路選択を指導する。「将来の夢や目標を持っている」「自分の将来のこと(進路)や生き方について考えている」について肯定的に回答する生徒の割合を75%以上にする。
- 生徒一人ひとり、とりわけ支援を要する生徒の情報交換を密にし、インクルーシブ教育への教職員全体の共通認識と理解をめざし、個に応じた指導を組織的に行い、進路や自立に結びつける。
- 調べ学習や読書活動など主体的な学習意欲の場となるよう学校図書館教育の充実をはかり、図書館活用率を前年度より向上させる。
- 芸術や伝統文化等に複数回触れ、体験することによって生徒一人ひとりの豊かな感性を磨く。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 校内アンケートの結果において、次の各項目について、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と肯定的に回答する生徒の割合を、次の数値を目標として取り組む。
 - ・「自分で計画を立てて勉強をしている」 65%以上
 - ・「朝食を毎日食べている」 95%以上
 - ・「家庭学習(宿題、予習、復習)をしている」 75%以上
 - ・「毎日同じ位の時間に寝ている、起きている」 85%以上
 - ・「授業の内容はよくわかる」「授業は楽しい」 75%以上
 - ・「体力に自信がある」 60%以上
- 全国体力、運動能力、運動習慣調査での体力合計点において、全種目を全国平均点以上をめざす。
- すべての教科において、ICTを活用する時間を計画的に設定し「わかりやすい授業」をめざす。
- 理数教育においては、課題発見・解決力、論理的思考能力の育成を図る。
- グローバル社会で通用するコミュニケーション能力の育成に努め、3年生で55%以上の生徒が英検3級程度以上の英語力を有するよう英語教育の充実を図る。
- 健康的な生活習慣、食育活動(給食も含む)の推進とともに現代的課題(喫煙、飲酒、薬物乱用、感染症、生活習慣病、心の健康等)に対して、生徒一人ひとりが高い意識を持ち、健康の保持増進に努める。

【学びを支える教育環境の充実】

- ICTの活用に関する目標
 - ・令和7年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える生徒の割合を、100%にする。
 - ・デジタル教材を活用した学習(家庭学習を含む)を、週2回以上実施する。
- 教職員の働き方改革に関する目標
 - ・年次休暇を10日以上取得する教職員の割合を30%以上にする。
 - ・ゆとりの日を月4回設定し、実施する。
 - ・「直近2〜6か月の時間外勤務の平均が月80時間を超える月数ゼロ」を満たす教職員の割合を85%以上にする。

▶ 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状(調査対象:令和5年度の中学3年生)

【平均正答率(%)】

国語	数学	英語
63	46	35

全国学力・学習状況調査の結果では、平均正答率は、全国平均と比較すると、国語(-6.8)、数学(-5.0)、英語(-10.6)、大阪市平均と比較すると、国語(-4.0)、数学(-3.0)、英語(-9.0)となっており、3教科とも全国平均を下回っている。無回答率においては、全国平均、大阪市平均と比較すると3教科とも無回答が多くなっている。国語では言葉の特徴の領域以外において全国平均を下回っている。数学は数と式以外の領域において平均を下回っている。英語ではすべての領域で下回っている。生徒質問紙の結果においては、「いじめを許さない心の育成」には成果が表れている。「自尊感情」「計画を立てて学修する」「家庭学習習慣の育成」には、引き続き課題が残る。

▶ 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(調査対象:令和5年度の中学2年生)

【種目別平均値】

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回数)	持久走(秒)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点(点)
男子	28.46	30.15	45.50	55.28		80.78	8.06	191.91	22.63	43.86
女子	23.38	22.83	45.59	46.10		54.16	8.98	170.02	13.09	48.52

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の本校の平均値を全国の平均値と比較すると、男子は上回ったのが5項目、下回ったのが3項目、体力合計点は+2.54点となった。女子は上回ったのが6項目、下回ったのが2項目、体力合計点は+1.30点であった。

また、本校の平均値を大阪市の平均値と比較すると、男子は上回ったのが5項目、下回ったのが3項目、体力合計点は+3.07点となった。女子は上回ったのが7項目、下回ったのが1項目、体力合計点は+1.53点となった。

男女とも全国平均・大阪市平均と比較しても上回っているものが多く、体育の授業をはじめ運動の成果が上がっているものと思われる。